

# 生活介護Bについて

## 生活介護が二つに分かれた理由

4月から生活介護を2つに分けて活動をしています。

これまでの生活介護では、内職活動が得意な方とそうでない方等々、様々な方がいてもそれを分けずに内職活動を中心とした活動をしていました。スタッフも1人で何人ものメンバーを支援している状態であり、一人ひとりを見ることが少ない状態でした。

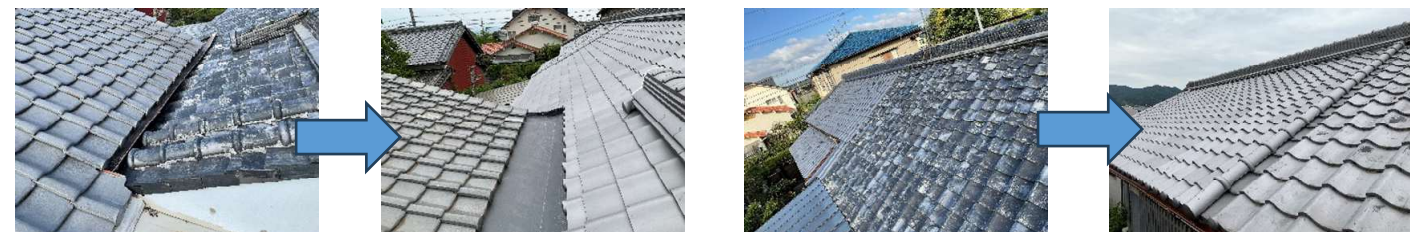
が得意でない内職活動を一日中することがメンバーのためになることなのか？一人ひとりを見れば、色々な活動をたくさんすることで、隠れた能力を見つけられるのではないのか？という考えから、これまでと違った生活介護を作ろうということとなりました。それを生活介護Bと呼んでおり、現在メンバー5名、スタッフ2名

## グループホームの屋根の修理をしました。

第3回までは JR 柳本駅近くにある定員5名の男性グループホームです。

閑静な住宅地にあります。古い民家なので最近では少量の雨でも雨漏りするようになり、部分的な修復を行っているが効果がなく、全面的な改修をしたいと思っているところ、奈良県共同募金会からの助成をいただき6月にグループホームの屋根の改修を実現することができました。

改修をすることにより、雨漏りによる不快感



編集人 社会福祉法人ふきのとう ふきのとう便り編集委員会  
連絡先 〒632-0052 奈良県天理市柳本町 2036 番地 1 TEL 0743-67-1099 FAX 0743-84-7738  
HP <http://www.fukinotou.or.jp/>  
E-Mail [fukinotou1099@fukinotou.or.jp](mailto:fukinotou1099@fukinotou.or.jp)  
発行人 関西障害者定期刊物協会  
〒543-0015 大阪府大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル 4F 定価：10円

で活動しています。

## 現在の活動内容

活動としましては暫定的に半日内職活動、半日別の活動をしています。これは今後変更する可能性があります。第一に考えるのは、メンバーが苦痛に感じない活動をするということです。

内職活動の間は、メンバー2、3名に対して、スタッフが1名見守りし、困ったことがあった場合の支援や、こまめな声掛けを行うことでのびのびと活動できるような体制を採っています。

別の活動は、散歩やドライブ、創作活動、園芸、畑などを行っています。時には、生活介護Bをさらに二つに分けて別々の活動をしたりなど、臨機応変にメンバーに合った活動を行うようにしています。



一九八四年八月二〇日 第三種郵便物承認 毎月(二・三・四・五・六の日)発行



## 多様性の社会をめざして

近年、多様性の社会が言われるようになってきていますが、先ごろ行われたG7サミットの国で、LGBTQの差別禁止法や婚姻の平等(同性婚)の法律がない日本の状況を見ると日本は、OECD(経済協力開発機構)諸国の35か国中34位とワースト2位(2019年)ともっとも遅れた国の現状です。

そんななかで、全日本民医連の川崎協同病院で働く、吉田絵里子医師が、「民医連新聞」で「にじのかけはし〜誰もが安心できる医療・福祉へ」の連載記事は、LGBTQが理解できる内容でした。一部紹介したいと思います。

まず、LGBTQとは、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クエスチョニング、クエアの頭文字から作られた言葉で、セクシャル・マイノリティの人々の総称として用いられています。クエスチョニングとは、自身のセクシュアリティを探索中だったり、決めつけたくない人のことを表し、クエアとは規範的とされる性のあり方とは異なる生き方をする人々を包括的かつ肯定的に表す言葉です。

吉田医師には、女性のパートナーがおり、2018年までそのことを一切話したことがありませんでしたが、ある時職場でカミングアウトされています。記事には、する前、した後の苦悩が綴られています。今まで自分自身の周りで、経験したことのない内容で、いかに理解が足りなかったのかを痛感しました。

では、社会の中でより理解を深めるにはどうしたらいいのかで、吉田医師は次のようにまとめられています。まず、「医療機関としてのと

社会福祉法人ふきのとう 監事 滝口 健次



りくみ」として、①性自認・性的指向で差別しない方針を明文化し、内外に公表する。②職員教育を行う。③受診しやすい診療環境を整える。④性自認・性的指向を推測せず、ジェンダーに中立な言葉をつかう。⑤セクシュアリティに関して守秘義務を守る。⑥患者が希望すれば法律上の親族でなくても面会、病状説明の同席や手術などの同意書にサインできるようなルールを定め、公表する。⑦問診票に性別欄が必要な場合には、自由記載にする。⑧性交渉歴を聞く必要がある場合には、相手が異性であることを前提としない聞き方をする。⑨通称名を使えるようにし、番号での呼び出しも選択可能にする。⑩トイレ、入浴施設、院内着、検査着などは、ジェンダーに関係なく使えるものを用意する。⑪患者からフィードバックができるシステムを整える。⑫地域の多様なリソースと繋がり、必要に応じて患者に紹介する。とし、職員・事業者内のとりくみについても提案されています。この取り組みを実行するには議論を重ねる必要があると思いますが、少しでも私たちが意識し、社会のなかで「LGBTQ」という言葉が浸透して、性的マイノリティの当事者の方が生きやすい世の中へと変われることを願っています。

# ふきのとうの動き

令和5年

- 3月30日 木曜特別活動 最終日
- 4月6日 4月のお誕生会
- 4月7日 お出掛けイベント

- 5月4日 5月のお誕生会
- 6月21日 川西町除草作業
- 6月29日 6月のお誕生会

## 木曜特別活動最終日

今日はスポーツ・音楽・創作に分かれて行う木曜日の特別活動の最終日となりました。いつもはそれぞれの名前通りの活動をしているのですが、今日はどの活動も散歩という名の花見になったようです。スポーツ班では満開の桜を観に奈良市の佐保川まで行きました。



令和5年3月30日

(音楽班・創作班は馬見丘陵公園) 長い堤防沿いは満開の桜が本当にきれいでたくさんの人が花見に訪れていました。みんなで写真を撮り、おしゃべりしながら歩いた道は、また一つみんなの思い出になったと思います。

## 創作&お誕生日会

令和5年4月より毎月お誕生会を開催しています。ただお誕生会をするというだけではなく、何かみんなで出来ることはないかと考え、手作りのものを作ったりプチパーティ的なことを盛り込んだり、メンバーさんたちが何かを『創る』『仕上げる』『達成感』を楽しく味わってもらえるような内容の年間計画を立ててみました。

この一年でその季節に応じたことをして行きたいと考えています。

まずは4月に卓上のウェルカムプレートを



4月 ウェルカムプレート

令和5年4月6日・5月4日

作成しました。とても個性あふれる作品がいっぱいで、メンバーさんの新たな魅力を発見することができました。

そして5月はミニ兜の置物と鯉のぼりの飾りを作りました。

お誕生会の時には、その月のお誕生日の人たちにみんなで『Happy Birthday』の歌を歌ってバースデーカードを渡してお祝いします。「嬉しいー!!」と何度も言って泣いてしまうメンバーさんもいてほっこりした時間を過ごすことができました。



5月 兜と鯉のぼり

## お出掛けイベント



4月7日(金)は毎年恒例のお花見の予定でしたが、今年の桜前線は早くに過ぎたことに加え、「花時の

雨」となったので、各班に分かれてお出掛けすることにしました。

いつもは花を愛でながら外でおいしい弁当を食べるのですが、雨天を考慮して



令和5年4月7日

ふきのとう内で昼食をとり、その後それぞれの班で行動しようということに決まりました。

どこに行くかは班で事前に話し合っていたので、それぞれスイーツカフェやイオンモール・道の駅などでおいしいものを食べたりお土産を買ったりして楽しい時間を過ごすことができました。



## 天理ダム風致公園清掃のお仕事を受注

ふきのとうでは自治体から年間を通してお仕事を頂くことがありますが、今年もいただくことができました。天理ダム風致公園やレイクパーク等の清掃や風致公園のトイレ掃除のお仕事です。

このお仕事は公園のトイレ掃除をしたり、天理ダムを利用した方が残したゴミを収集してクリーンセンターに運んだりします。中には

不法投棄された大型ごみや自動車部品等もあり、対応に困ることもあります。

メンバーさん達もそんなゴミを一生懸命拾ってくれていますので、自治体の職員の方からも良い反応を頂いています。

また一年間出来るだけきれいな状態で皆さんが利用できるようにメンバーさんと共に頑張っています!

## ダンスと音楽療法

ふきのとうでは金曜日の午後の活動が隔週で音楽療法とダンスになりました。

音楽療法では音楽に合わせて挨拶を交わしたり、体を動かしたり、楽器を鳴らしたりします。

印象的なのは、先生が持ってきてくださる楽器で、アフリカの民族楽器のような太鼓、動かすとサラサラと波の音のなる筒など、触ったことのない珍しい楽器を使い、音楽に合わせて

で鳴らしていくことです。

ダンスは、YouTubeにアップロードされている流行の振り付けを教えます。

直近では「Habit」をみんなで踊りました。格好よく踊る先生には程遠い動きながら、メンバーさんだけでなくスタッフも一緒に楽しみながら踊っています。

音楽療法もダンスも専門の先生に教えてもらって、新しい経験を楽しんでいます。

